

シンシア・テニエンテ・マトソン

テキサス A&M 大学 サンアントニオ校 学長

テキサス A&M 大学サンアントニオ校 (A&M-SA) の 2 代目学長。A&M-SA は、テキサスにおける急成長中の大学の一つであり、A&M 大学の中で大都市圏内にキャンパスを擁する唯一の大学。マトソン氏は、2015 年に学長に就任して以来、重点的目標をいくつも達成している。A&M-SA が Hispanic Serving Institution(HIS:高等教育機関でヒスパニック在籍人数が 25%以上の機関)の認定を受けるに至ったのも、彼女の功績である。



マトソン氏は高等教育機関で 25 年以上のキャリアを有し、前職では、カリフォルニア州立大学フレズノ校の副総裁（管理担当）兼最高財務責任者を務めた。

マトソン氏の強いリーダーシップは多方面から評価されており、San Antonio Hispanic Chamber からは Making a Mark on the World Innovation Award を、San Antonio Business Journal からは Women's Leadership Award をそれぞれ受賞している。

サンアントニオ市出身のマトソン氏は、コミュニティに深く関わりをもっており、現在、San Antonio Tricentennial Commission の会長、San Antonio Chamber of Commerce 及び San Antonio Hispanic Chamber of Commerce の役員を務める。また、高等教育機関の課題に関する、国家の思想的指導者であり、American Association of State Colleges and Universities (AASCU、州立大学と総合大学のアメリカ連合)の理事会、Higher Education Resource Services (HERS)の役員会のメンバーである。

なお、2019 年 6 月 3 日（月）A&M-SA で開かれた、カルコン米側主催パネルディスカッション「Leaders Developing the Next Generation」において、パネリストの一人として登壇した。

マトソン氏はアラスカ大学フェアバンクス校で学士号（経営学）、アラスカ大学アンカレッジ校で修士号（MBA）、カリフォルニア大学フレズノ校にて博士号（教育学）を取得。家族構成は夫の Mike, 二人の息子（Phillip & Wyatt）の四人家族。

以 上